

# 工作機械工業 収益状況集計

(2016年度 第3四半期)

会員企業のうち2017年2月迄に2016年度第3四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業18社を集計。調査対象企業における専業比率は、82.6%。なお、今期は会員の新規加入等に伴い、前年度から2社増となっている。

## 1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要 (18社)

(単位：百万円・%)

	16年度	16年度	16年度	16年度	前年同期比	15年度
	I期	II期	III期	I～III期		I～III期
売上高	144,372	170,915	174,650	489,937	▲10.8	549,281
売上総利益	41,677	48,185	48,153	138,015	▲13.6	159,681
売上総利益率	28.9	28.2	27.6	28.3		29.1
営業利益	5,365	10,902	10,452	26,719	▲38.2	43,261
営業利益率	3.7	6.4	6.0	5.5		7.9
経常利益	3,130	10,006	13,416	26,552	▲38.6	43,218
経常利益率	2.2	5.9	7.7	5.4		7.9
当期利益	1,415	6,497	10,656	18,568	▲36.8	29,396
当期利益率	1.0	3.8	6.1	3.8		5.4
総資産	933,182	943,686	970,760	970,760	▲1.8	988,874
純資産	511,952	507,535	531,914	531,914	▲3.0	548,141
自己資本比率	54.9	53.8	54.8	54.8		55.4
自己資本 当期純利益率 (ROE)	1.1	5.1	8.0	4.7		7.2

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I～III期計・前年同期比) (18社)

(単位:社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	1	17	18
売上総利益	2	16	18
営業利益	5 (0)	13 (4)	18 (4)
経常利益	4 (0)	14 (5)	18 (5)
当期利益	5 (0)	13 (5)	18 (5)

※( )内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

## 2. 2016年度通期見通しの概要

**表3 【第3四半期時点】連結業績予想の概要（18社）**

（単位：百万円・％）

	2016年度通期見通し			2015年度実績
	第2四半期時点	第3四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	677,628	684,848	▲9.1	753,130
営業利益	42,635	43,410	▲29.6	61,701
営業利益率	6.3	6.3		8.2
経常利益	39,460	41,175	▲31.0	59,662
経常利益率	5.8	6.0		7.9
当期利益	27,664	28,164	▲29.9	40,158
当期利益率	4.1	4.1		5.3

**表4 【第3四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（18社）**

通期 （対前年度比）	増収増益	1社 （増減なし）	増収減益	1社 （増減なし）
		減収増益	4社 （増減なし）	減収減益

※（ ）内は、第2四半期時点からの増減社数

### ◎第2四半期時点からの修正理由

#### 【売上高、経常利益とも上方修正 …2社】

- ・為替が想定した水準に比べ円安傾向であり、円換算の売上が増加したこと、当期中に売上予定の受注が増加したことによる
- ・売上高は自動車部品製造事業での客先素材支給による四輪部品加工の受注が増加したため、前回予想を上回る見込み。利益面については、同様の理由で営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見込み

#### 【売上高を上方修正、経常利益を下方修正 …1社】

- ・売上高は、自動車関連メーカー向け専用工作機械の増加などにより、前回予想を上回る見通し。利益面においては、依然として厳しい価格競争の中で受注を確保している自動車関連メーカー向け専用工作機械の採算が予想を下回ることや、建材事業の住宅防音工事が減少したことによる利益減などにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回り、赤字が拡大する見通し。

#### 【売上高、経常利益ともに下方修正 …1社】

- ・売上高については、工作機械関連事業部門において前回発表値を若干下回る見込みだが、概ね予想通りに推移するものと想定。損益については、輸送機器関連事業部門において、原価低減等の効果により前回発表値を上回るものの、工作機械関連事業部門におけるシステム案件等の採算が想定以上に悪化したことにより、前回発表値を下回る見込み。

### 3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (18社)

(単位:百万円・%)

	16年度		15年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	404,521	▲13.5	467,904
営業利益	26,894	▲38.3	43,579
営業利益率	6.6		9.3
専業比率	82.6		85.2

表6 【参考】工作機械事業の概要 (26社)

(単位:百万円・%)

	16年度		15年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	609,120	▲11.3	686,497
営業利益	38,707	▲34.6	59,225
営業利益率	6.4		8.6
専業比率	23.9		25.3

※表5の対象企業18社に加え、セグメント情報を公表している  
専業比率30%以下の会員企業8社を加えた26社で集計

#### 【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社  
 浜井産業株式会社  
 豊和工業株式会社  
 小池酸素工業株式会社  
 黒田精工株式会社  
 株式会社牧野フライス製作所  
 株式会社岡本工作機械製作所  
 OKK株式会社  
 オークマ株式会社  
 株式会社桜井製作所  
 西部電機株式会社  
 株式会社ソディック  
 スター精密株式会社  
 株式会社太陽工機  
 高松機械工業株式会社  
 株式会社滝澤鉄工所  
 株式会社ツガミ  
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

株式会社アマダホールディングス  
 富士機械製造株式会社  
 株式会社不二越  
 株式会社ジェイテクト  
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)  
 株式会社三井ハイテック  
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)  
 東芝機械株式会社